

1. 代ゼミ入学期編

① 代ゼミに来る前は、生物はどんな科目だと思って、どんなふうに勉強していましたか？また生物や他の科目は得意だったか苦手だったかを書いてください。それから「物理選択だったので生物は全然勉強してなかった」なんて場合もあるでしょう。そのような場合は、そうした経緯を書いてください。

生物は、単なる暗記科目だとは思っていませんでした。どうしてそうなるのかなどがよく分からないところも多く、暗記だけでは乗り切れないと考えていました。それを分かっていたものの、問題集をやっているときには暗記で終わらせていたので、理解していない部分も多かったです。英語が一番得意で、生物、化学は苦手でした。

●生物は暗記科目なのですが、“単なる”暗記科目ではないではありません。それに気がついていたのはとてもいいですね。それがわかっているも「問題集をやっているときには暗記で終わらせていた」のはしかたがないですね。これが独学の限界というやつです。

② まわりの友人たちなどはどんなふうに勉強していましたか？

学校で配られたセミナーをやっている人が多かったです。資料集も活用していました。ノートに図を描いてまとめ、分かりやすくしている人もいました。

●学校で配るものはセミナー生物かリードαが定番ですね。大堀はリードαを使っていました。どちらもよくできていると思います。が、前記したように「独学の限界」があるわけです。

③ この時期は何大学の何学部を志望していましたか？

新潟大学医学部医学科

●新潟大学の生物の問題はそれほど難しくありません。が、ということは、ハイレベルな学生が集まる医学部受験では「どれだけ全問正解に近づけるか」という戦いになるわけです。

④ なぜ代ゼミを選んだのですか？

1浪目は映像授業の予備校に通っていましたが。質問できる環境があまり整っていなかったので、家から通えて、対面授業で質問もできる代ゼミにしました。

●映像授業は時間を自由に組めるという点はとてもいいのですが、わからないことがあったときの対処が難しいですね。代ゼミの校舎に通う場合質問し放題。利用しない手はありません。

⑤ なぜ大堀の生物を選んだのですか？

担任の先生からおすすめされたからです。

●担任の先生、ありがとうございます。

⑥ 大堀の講義を受けたときの、最初の印象はどうでしたか？

元気のよい先生だなと思いました(笑) 確か最初の授業から生徒をガンガン指名されていたと思います。他の授業ではあまりなかったので新鮮でした。授業は面白く、大堀先生の生物にしてよかったと思いました。

●そんなに元気ですか？ 他の先生の講義をほとんど見たことがないのでわからないのですが。むかし、パーフェクトテレビで視聴する講義の宣伝パンフレットにも「元気いっぱいの講義です」と書いてあったなあ。

●学生を指名して答えさせることで学生のレベルを知ろうとしているのです。教えたことがちゃんと伝わっているのかもわかります。それといつあてられるかわからないから緊張しますよね。だから眠くならない。さらに、たま〜に出る学生の珍解答。楽しいですね。

⑦ この時期の予習・復習はどうしていましたか？(時間配分、他の科目との兼ね合いなど)

復習シートを活用していました。バスで通っていたので、乗っている間にスマホで確認していました。往復で45分ほどだったのでそのくらいしかやっていなかったです。数学の予習にかなり時間をかけました。

●いいですね。生物はそんなものでいいのです。毎年最初の講義で話しますが、英語・数学ができなかったら受験の土俵にも上がれないのです。その他の科目は足を引っ張らなければいい。英数で勝負するのです。一に英数、二に英数、三四に英数、五に生物です。

●大堀のウェブサイト「大堀求のオフィシャルサイト」では講義進度に合わせて復習シートをUPしていきます。通学時間や休み時間などのちょっとした時間に使えるように作ってあります。無料ですので気兼ねなく利用してください。

2. 1 学期編

① そろそろ大堀の講義にも慣れてきたころ。大堀の講義をどのように感じていましたか？

指されるかもしれないとビクビクしながら授業を受けていた気がします(笑) でもそのおかげで常に頭をはたらかせられました。授業中にスマホで画像を検索したりと、気分転換もあって楽しかったです。なんといっても先生の扇子が印象に残っています(笑)

●おそらく学校の授業中にスマホをいじくと怒られるのではないのでしょうか？ でもスマホってすごくいいツールですよ。これを利用しない手はありません。例えば「相変異によってウンカの翅の長さが増える」と聞いたとき、ウンカがどんな生き物かがわかった方が記憶に残りやすいですよ。代ゼミには「絶対合格するんだ」という学生しかいません。ですからこれから講義をさぼろうとしてスマホをいじくる学生は皆無です。これからもガンガン使っていきますよ。

● 扇子は浅草の仲見世通りで買っています。黒板や机をバンバン叩くのですぐに壊れて、また買いに行くことになります。

② この時期はどのように生物を勉強していましたか？

復習シートを継続していました。演習の授業の予習もやっていましたが、難しくてほぼほぼ解けなかったです。心が折れそうになることも多かったです。

●ハイレベル生物問題演習の問題は確かに難しいです。1 学期の間は 3 ～ 4 割も解ければたいしたものです。気にしない気にしない。

●「復習シートを継続」はとてもいいですね。復習シートの一番いい使い方は「講義を受ける」→「その日のうちに復習シートで復習する」→「しばらくしてからまた復習シートで復習する」。また、復習シートは毎週講義よりも前にUPするので予習用に使うのもアリですね。

③ 生物の成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

マーク型の問題では、それまでなんとなく選んでいた問題が多かったけど、一個一個の選択肢を熟考できるようになりました。何が正しいのか、何が誤っているのかを指摘できるように段々となっていました。偏差値は良い時で74程、悪いときで64程でした。良くなったり悪くなったりしました。

●「それまで何となく選んでいた…選択肢を熟考できるようになりました」「何が正しいのか、何が誤っているのかを熟考できる」。これは生命現象の正しい理解が蓄積してきた証拠。前記した「生物は単なる暗記科目ではない」「独学の限界」の部分が解決され始めたわけです。

3. 夏期編

① 夏期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

「大堀の正しく理解する生物」を2種類取りました。申込の締め切り直前に決めたと思います。夏休みを自力で勉強して過ごすことに不安があったので受けることにしました。授業が楽しかったので、長い夏休みの途中の楽しみでもありました。せっかく取るからには習ったことを自分のものにしようと思い、復習をたくさんしました。マーカーで単語を塗り、赤シートで何度も確認していました。

●1学期は英数中心で、生物にはほとんど時間がかけられないはず(通学時間の復習シートくらいですね)。それでいいのです。英数ができなければどこの大学受かりませんから。でも夏くらいは生物をやらなくてはいけません。まずは1学期の復習をやりましょう。復習シートをもう1回はじめからやり直しましょう。それが終わったら2学期の予習に取り掛かりましょう。というのは2学期も英数で忙しいからです。夏のうちに2学期の範囲も終わらせておき、2学期の大堀の講義は復習代わりに受講するのです。

●ところで、2学期の範囲には独学が難しい単元があります。そこで夏期講習会では大堀のオリジナル講座を2つ作りました。

・『大堀の正しく理解する生物<神経・免疫・個体群・生態>』

・『大堀の正しく理解する生物<進化・系統分類>』

どちらも大堀の講義を聞きながら、()に重要な用語などを埋めていく形式です。板書をノートに写すのに夢中にならなくて済み、落ち着いて講義を受けられます。また、各単元の典型的な問題も載せてあり、講義で解説していきます。代ゼミ2学期の難しい分野を短時間で効率よく仕上げることができます。

●夏期講習会講座には次の2つもあります。

・『ハイレベル生物』：1学期の範囲の問題演習を行います。講義前に各自で問題を解いてきましょう。講義ではそれらの問題を解く際に必要な知識・思考過程・論述の方法を解説していきます。問題のレベルは、1学期の「標準生物問題演習」と「ハイレベル生物問題演習」の間くらいです。

・『共通テスト』：1学期の範囲の問題演習を行います。講義前に各自で問題を解いてきましょう。講義ではそれらの問題を解く際に必要な知識・思考過程などを解説していきます。過去のセンター試験・共通テスト、国公立大・私大の類似問題からなります。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

基礎的な問題集を使って1学期の復習、2学期の予習を行いました。1学期に習った範囲の方をしっかりと目に演習しました。2学期の予習は1学期に習った範囲よりは疎かになってしまいました。

●1学期の復習と2学期の予習のどちらに力点を置くべきか？ 両方とも重要なのですが、あえて言うなら1学期です。というのは、2学期の範囲はまだ大堀の講義を受講していないからです＝2学期の範囲はまだ正しく理解できていないからです。

③ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

夏期講習を受けてその復習をしたり、問題集を何度も反復したりするうちにどんどん分かるようになり、生物がとても好きになっていきました。夏休み明けの共通テスト模試で偏差値が 60 を切ってしまったけど、生物ができるようになってきたと感じていたので、たまたまだとポジティブに考えました(笑) 落ち込みすぎるとやる気を失うので、ネガティブな考えはしないように気を付けていました。

●大堀もそうでしたが、成績が上がってくるときには「おっ、来たな！」という感覚があります。これは数字には出てこないものですが、そのような実感があれば着実に成績はがっています。模試の結果が 1 回くらい悪くても大丈夫です。

4. 2 学期編

① 夏期の学習が2学期にどのように影響を与えましたか？

知識が増えたので、勉強していて楽しかったです。演習の授業の予習も、1学期よりは解けるようになりました。

●成績が伸びてくると勉強が楽しくなってきますよね。でも、あくまでも英数中心です。それは2学期も変わりません。

② 2学期の範囲の学習と1学期の範囲の学習の兼ね合いはどうか？

どちらも復習シートを何度も確認していました。知識が身についていないと問題を解けないと思うので継続していました。

●いいですね。継続は力なりです。あの復習シート、完全に覚えたら成績はかなりの喪になるはずです。

③ 夏期講習講座の復習はどうしましたか？

ほぼ完璧になるように、暇な時に赤シートを使ってテキストを見返していました。授業内でメモを結構取っていたので、見返していて楽しかったです。

●「楽しい」というのは「力」ですよね。楽しければ勉強しようとするし、勉強すればさらに楽しくなってくる。とってもいい循環です。

④ 共通テスト対策はどうしたか？ いつ頃始めましたか？どのようなことをしましたか？

夏休みに赤本をやりました。できたかできなかったかはあまり気にせず、復習に力を入れました。特に間違ったところで理解が不十分なところは、代ゼミのテキストや資料集を使って確認しました。一気に1年分解くのではなく、大問ごとに解いていました。

●夏期頃であれば「大問ごとに解く」というやり方でいいと思います。
1 1月くらいになったら時間内に全問を解き切る練習を始めましょう。

⑤ この時期の成績の推移はどうでしたか？ 模試の成績など。このころ感じた不安などありましたか？

良い時は偏差値が70を超えましたが、成績に波があったので常に不安でした。2浪で最後の挑戦だったので、もし医学部に落ちたらどうしようと考えてしまうことが時々あり、そのときはかなり辛かったです。中学の友達や、大学生になった友達から慰めてもらい、なんとか頑張れました。

●慰めてくれる人がいる。いい環境ですね。受験だけでなく、これからの人生もとても重要です。

5. 冬期編

① 冬期講習講座はとりましたか？ 何という講座を取りましたか？ いつごろその講座を取ることを決めましたか？ その講座を取った理由はなんでしょう？ その講座をどのように活用しましたか？

大堀のオリジナル講座を2つ取りました。きちんと予習をして臨み、習った内容を完璧にできるよう、復習をしっかりとしました。

●いいですね。「予習」「復習」をしっかりとこなす。この当たり前のことを着実に積み重ねることが最も重要なのです。

●大堀のオリジナル冬期講習会には次の2つがあります。

・『大堀の“思考力”養成講座＜共通テスト・二次・私大対策＞』

・『大堀の“ひらめき力”養成講座＜+1・2学期総復習＞』

「思考力養成講座」はその名の通り、“考える問題”の対策をおこないます。大堀が編集または作成した問題を使い、生物学的な思考力を養います。

一方、「ひらめき力養成講座」は「知識だけに頼らない、柔軟な発想力」を養う講座です。暗記していないことであっても、それまでに蓄積した知識を使って解答を導き出す力を養います。

●大堀が担当する冬期講習会講座には、上記以外に次の2つもあります。

・『ハイレベル生物』：主に2学期の範囲の問題演習を行います。講義前に各自で問題を解いてきましょう。講義ではそれらの問題を解く際に必要な知識・思考過程・論述の方法を解説していきます。問題のレベルは、2学期の「標準問題演習」と「ハイレベル生物問題演習」の間くらいです。

・『共通テスト生物』：主に2学期の範囲の問題演習を行います。講義前に各自で問題を解いてきましょう。講義ではそれらの問題を解く際に必要な知識・思考過程などを解説していきます。過去のセンター試験・共通テスト、国公立大・私大の類似問題からなります。

② 1学期の復習・さらに2学期の範囲の学習はどうしていましたか？

センター試験、共通テスト、受ける予定の大学の過去問を解いていました。間違えたところは放置せず、持っている教材で再確認しました。

●「間違ったところは放置しない」、とても大切なことですね。やはり合格した人というのはやるべきことをちゃんとやっていますね。

④ 成績はどのように推移していましたか？ 模試の成績など。

相変わらず成績に波がありました。でも偏差値が60を切ることは無くなりました。

●成績は直線的に上がるのではなく、上がったたり下がったりしながら全体としてだんだん伸びていく…ことが多いですね。

⑤ 共通テストの対策はどうしていましたか？

センター試験、共通テストの過去問を繰り返し解いていました。時間内に解き切れるよう、60分測ってやりました。

●そうですね。この時期は「時間内に解き切る練習」がとても有効になります。

6. 直前期編

① 1・2月の生物の学習はどうしていましたか？

受験予定の大学の過去問をひたすら解いていました。受ける大学が多かったので、過去問を解くだけでもかなり時間がかかりました。間違えたところは、今まで勉強してきたテキストを使って確認しました。

●そうですね。この時期は過去問を使っての「時間内に解き切る練習」がいいですね。ここで重要なのは、問題を解けたか解けなかったかで一喜一憂するのではなく、できなかった問題をどうするか…ですね。これもちゃんと解決できていますね。

② 何大学の何学部を受験しましたか？

- ・自治医科大学(医学部医学科 一次合格二次受験なし)
- ・東邦大学(医学部医学科新潟地域枠 一次不合格)
- ・杏林大学(医学部医学科新潟地域枠 一次合格二次不合格)
- ・順天堂大学・昭和大学(医学部医学科新潟地域枠 一次合格二次補欠)
- ・東京理科大学薬学部薬学科B方式 合格
- ・富山大学医学部医学科 合格
- ・名古屋市立大学薬学部薬学科 不明

③ 受験の前日・当日にやったことは？

自分で作った見返し用ノートを確認したり、英語の長文を読んだりしました。勉強面以外では、湯船にしっかり浸かる、母にマッサージをしてもらう、ご飯をしっかり食べる、乾燥対策などをしました。ホテルを出発する際には、最重要である受験票、筆記用具が入っているかを必ず確認しました。カイロをホテルの部屋に忘れてしまい、どうしても指先が冷たくて暖まらなかったのもので大学病院のコンビニで購入しました。周りにコンビニ、スーパーが全くないキャンパスだったので、もっと持ち物確認を丁寧にすべきでした。

●なるほど、指先が冷たいと書く動作に支障をきたしますからね。「持っていく物」を書きだしたメモを作っておくといいかもしれません。

7. その他

① 受験校・学部が決定したのはいつごろですか？

国公立前期を決定したのは共通テストの結果を見てからです。本番では900点中668点しか取れませんでした。父からの助言もあり、共通テストと二次試験の割合、二次試験の問題を考慮して富山大学に決めました。

●お父さん、ナイスですね。見事な作戦勝ち。医学部ならどこの大学でもいい…というのであれば、「共通テストの配点：二次試験の配点」で受験する大学を決めましょう。というのは、共通テストの点数が芳しくなかった場合、共通テストの配点が高い大学で「二次で巻き返す」というのはほぼ不可能だからです。共通テスト後のリサーチを利用して二次試験で挽回可能な大学を探しましょう。

② スランプになった時期はありますか？またそれをどういうふう に克服しましたか？

授業のない夏休み、冬休み、直前期が結構辛かった覚えがあります。ほとんどの時間を自分一人で勉強するため、落ち込みやすかったです。一番覚えているのが夏休み中の、やる気が全く出なかった日のことです。そのときはものすごい虚無感に襲われました。代ゼミの自習室を抜け出し、周辺を長散歩したのを鮮明に覚えています。万代まで行って鯛焼きを買って食べ、代ゼミに戻ってきて地下の自販機でお菓子とジュースを買ってのんびりして過ごしました。また、そのとき高校の友達にLINEしたらすぐに返信が来て、励ましのメッセージをくれました。食べたり友達に話を聞いてもらったりしていたら復活し、勉強を再開できました。浪人生活中は、友達に応援してもらったり、たまにご飯に行ったりしてモチベーションを保つようにしました。

●人にもよりますが、「授業のない期間」というのはネックになりますね。そういう人はやはり夏期講習会・冬期講習会をうまく利用するようにしましょう。でも、Aさん、なんだかんだいってちゃんと解決できていますね。

③ ストレス解消法などありましたか？

私の場合、暴飲暴食でした（笑）食べることが大好きなので、ストレスを感じた時には沢山食べてしまっていました。犬と猫を2匹ずつ飼っているので、触れ合うのもストレス解消になっていました。

●暴飲暴食…いいですね～。まあ、死なない程度にやりましょう♪ 大堀は筋肉トレーニングをするとストレス解消になりました。体を動かすとアドレナリンがたくさん分泌されてやる気が出る！のです。

8. 大堀の講義は今、大学でも役立っていますか？

それから後輩たちへの応援メッセージなど

役立っています。生命科学の授業では、高校範囲の生物で習った内容が多く出てきます。こんなことを大堀先生から習ったな〜と懐かしみながら授業を受けています。一度先生から習ったことが多く出てくるので理解しやすいです。

私は2浪の末やっと、念願だった医学部に合格することができました。同級生が大学生活を楽しんでいる中、毎日勉強を続けるのは辛いときも多かったです。でも、医師になりたいという強い願望があったためこれまで頑張ってくることができました。だから目標を見失わずに勉強に励んで欲しいです。成績が上がらなかつたりして落ち込むこともあると思います。私は、そんなとき無理にでもポジティブに考えようとしていました。私の場合、少しでも落ち込むとどんどんネガティブになり、勉強が手につかなくなると分かっていたからです。模試の結果が悪いときには「今回は本番じゃない。この悪い結果はもう忘れよう」浪人していること自体に悩んだときには「今は準備期間だから大学に入ってみんなの100倍エンジョイしてやる！」というふうに考えていました(笑)

受験において、気持ちの面も学習面と同じくらい大切だと思います。1浪目までは、模試のたびに悪い結果に落ち込み、しばらく勉強に集中できない日が続きました。受験本番でも、前の教科の出来が気になり、最大限の集中はできなかったと思います。2浪目でやっと精神面の大切さに気付いたので考え方改革をしました。落ち込んでいても良いことは一つありません。それなら次頑張るという精神でいた方が絶対に成績の向上に繋がります。「自分は絶対に合格するんだ！」と信じて毎日を過ごして欲しいです。

勉強していてわからないことがあったら、先生に質問した方がいいと思います。代ゼミの先生は良い方ばかりなので、きっと優しく丁寧に教えて

くださいます。生物は授業で理解することが多かったのであまり質問にはいきませんでした。他の教科はよくいっていました。一人で長い間ずっと悩んでいたらもったいないと思います。

最後に、まとまりのない文章をここまで読んでくださった方、本当にありがとうございます。私は辛くなったとき、先輩方の合格体験記を読んでやる気を振り立たせていました。また、「自分も医学部に合格してこの合格体験記を書きたい！」と思いながら浪人生活を過ごしていました。私の文章が誰かの助けになるという自信はありませんが、一人でも「頑張ろう」と思ってくれる人がいたら嬉しいです。私は、下から数えた方がはやいレベルの成績だった高校時代から医学部に合格することができました。だから皆さんもきっとできます。絶対に諦めずに頑張ってください。誰だかわからないとは思いますが、受験生の皆さんのことを応援しています。

●この受験では医学部合格以外にも得るものがありましたね。それは精神面の大切さに気がついたことです。別の言い方をすれば自分の操縦方法に気がついたということです。自分は落ち込みやすいということを嘆くのではなく、自分は落ち込みやすいから「そんなときはこうすればいい」という方法が身に着いたわけです。これは今後の人生でも大いに役立ちますよ。

●それから「合格体験記を書くこと」もかないましたね。きっと多くの受験生の参考になりますよ。改めて合格おめでとうございます。よく頑張りました(^o^)/